

今月号の内容

WASLI が翻訳者を求む

スコットランド手話通訳者協会の見習い計画

オーストラリアの農村地方に於ける手話通訳事情

WASLI 翻訳者募集

ご存知のように、世界中、様々な手話や音声言語が存在している。WASLI の主要言語は英語と国際手話だが、2005年から、WASLI は英語圏以外の同業者に、多言語で情報を提供する必要があると認識し始めた。つい最近、多くのボランティアのご協力を得て、スペイン語及びロシア語のニュースレターを提供できるようになった。国際手話版について、現在考案しているところである。

この翻訳業務のために、WASLI は翻訳部を設けた。そして、ラファエル・トレビノ氏がその統括を引き受けてくださった。この翻訳部は、WASLI のニュースレターや情報交換に興味をもつボランティア翻訳者のネットワークである。特別な条件はないが、翻訳経験や翻訳訓練を受けたことのあるボランティアなら大歓迎。

われわれのために働いてくれることに感謝する。

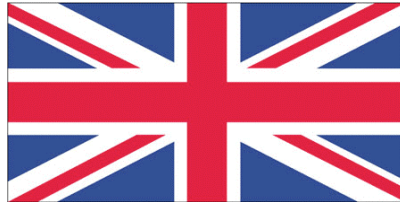
WASLI の翻訳者になりたいと思いませんか。関心のある方は、履歴書を添付の上、下記の詳細を記入したメールを送ってください。宛先はラファエル・トレビノ氏まで translations@wasli.org (ラファエル氏は ASL の認定通訳士、全国通訳技能認定 (上級) および ASL 手話-英語-スペイン語の通訳を務めている。彼はフロリダ国際大学でスペイン語と英語の翻訳及び法律分野の通訳を勉強し、アメリカ在住。)

翻訳者応募の際、下記の事項を記入してください。

- 名前
- 住所 (国名)
- メールアドレス
- 電話番号
- ファックス
- Skype (あれば)
- 英語から翻訳可能な言語
- その言語は母語であるか
- 正式な翻訳訓練を受けたことがあるか。ある場合、学校名及び時期
- 翻訳経歴
- 翻訳や通訳の資格

ラファエル・トレビノ氏にメールしてください。 translations@wasli.org

イギリス



面積: 244,820 平方キロメートル
人口: 61,113,205 (2009年7月現在)

言語: 英語、ウェールズ語 (ウェールズ地方の人口の約 26%を占める), ゲール語のスコットランド方言 (スコットランドで約 60,000人)

GDP: \$36,600 (2008年現在)

(原典: <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/uk.html>)

THE SASLI (スコットランド手話通訳者協会) の見習い計画

見習いコースのコーディネーター・マルゴ・C・M・キュリエ氏より

ゼイン・ヘマ氏がまだ 10 代の腕白少年であり、我々のビデオ会議向けの手話単語集がまだ出来上がる前、SASLI (スコットランド手話通訳者協会) と BDA (イギリスろう協会) がすでに手話通訳者のために、よりすばらしい養成コースを世に送り出した。今回すでにスコットランド国内で実施されている新しい見習いプロジェクトについて、ぜひ皆さんに紹介したいと思う。このプロジェクトは、スコットランド政府の出資及び委託を受けた 1,500 万ポンドの架け橋プロジェクトの一環である。

WASLI の会員が一人でもこのような学習機会が得られたら、すべての会員の利益に繋がるに違いない。このキャンペーンについて、大いに紹介する必要がある。そうすることによって、活躍中の皆さんに勇気と希望を与え、業界の活性化に繋がる。通訳サービスを提供するプロたちが、サービス利用者と政府関係者と 18 ヶ月に渡って協議した結果、このような革新的なプログラムが実現できた。職業通訳者や、経験豊富なるうおよび健聴の指導者や、手話の場面モデル研修を受けた方など、このような方々が、より専門的にレベルアップするために、安心して指導や研修などを受けられるよう、その費用を政府が全部負担してくれる。当時指導側の立場として、90年代にダラム大学でのつらい経験をよく覚えているが、意欲満々で団結したチューターと学生たちが、通訳業をやりながら、スポンサーも得られないまま、日々大学の学費のために、どれだけ個人の収入をつぎ込んだのか。その後、私はほかの大学で働きながら、別の通訳養成コースを勉強した。その時も真面目なチューターたちの苦勞を目撃した。学生たちの就職斡旋がうまく行かず、各代理店のスタッフが残業漬けで、学習者に対して、適切なアドバイスをする余裕もなかった。だから今の状況は極めて恵まれている。われわれはあのようなストレスから解放され、適材適所に配置させることに集中できる。そして、サービス利用者の期待に応えられるような、技術レベルや管理などを全うできる。

この 20 ヶ月の養成期間に、どのような内容とどんなものが含まれているのか。それを数えながら、皆さんも一緒に歓声を挙げて頂きたいと思う。

- リーズ大学英語手話／英語通訳科の修士号
- イギリスろう協会の高等英語手話証明書
- スコットランド手話通訳者協会の代理店に登録され、就職斡旋 (最低週 2 日) を受けられる
- イギリス手話話者の団体や言語、文化など活動場面で活躍
- 見習いコースのコーディネーターや客員チューターから、一对一や集団で行う正規な学習と体験学習の指導を受けることができる。

本当に羨ましい。この 10 名の見習い生はいかに幸運なのか。私も、できるものなら、一からスタートしたい、とは思う。80年代と90年代の経験もまた捨てたものではない。当時のろう者と健聴者は、権利と社会認識の改善を求めて戦ったものである。今のプロジェクトが実現できるのは、このようなチームワークの御陰だ・・・事実、我々の養成プログラムは長い間ろう者の関与がうまく行かず、いろいろ大変だった。我々通訳者は、高等技術を持つろう者の補助や、同レベルの通訳者として、学習や業務に携わってもらいたかった。今回の 10 名の見習い生の中に、ろうの女性が一人いる。彼女の参加は、このプロジェクトの大きな動力となり、彼女の成功によって、ろうの通訳者のための修士コースが更に増えるよう期待したい。

このプロジェクトのコーディネーターを務めさせていただき、大変光栄に思う。このプロジェクトはすでに絶好なスタートを切っていることを、ぜひ知ってもらいたい。すべてのトレーナーや見習い生、顧問、そして代理店が、この前例のない機会のために一心同体となっている。もし編集長が了承してくれるのなら、私は喜んで、もちろん光栄に、このすばらしい挑戦の進展について、報告し続けたいと思う。





スコットランド手話通訳者協会の見習い生10名と、イギリスろう協会のチューター・アビリル・ヘープナー氏とテッサ・パッデン氏。

オーストラリア



面積 7,686,850 平方キロメートル
人口：21,262,641 (2009年7月現在)
首都：キャンベラ
GDP: \$38,100 (2008年現在)
(原典: <https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/as.html>)

オーストラリアの農村地方に於ける手話通訳事業の現状

オーストラリアのマーリーン・ブレイク氏より

私はオーストラリアのニューサウスウェールズ州リバリナ地方でオーストラリア手話の通訳者として働いている。シドニーからここ、ワグガワグガに移ってからの私の経験を、ぜひ皆さんにお話したい。

私は、郊外のほうが、落ち着いて、リラックスして通訳業務に従事できるだろうという先入観を持っていた。ところが、実際はまったく正反対だ。私は去年からろうの依頼者にサービスを提供するために、シドニーからワグガワグガ（ニューサウスウェールズ州の郊外にある、内陸地方）へ通勤し始めた。2008年の丸一年間、私は行き来したりしていたが、この長い通勤時間に疲れて、今年の1月からこの小さなコミュニティに移住して、ペースを少し落とそうと思った。残念ながら、リバリナでは私が唯一のプロ通訳者なので、マーリーンがこのへんに来ているよと噂がすぐ広がって、私の時間があつという間に埋められてしまった。

週によって、2時間の業務に往復各3時間をかける時もあった。ここにきて、私はいろいろなことを目の当たりにした。内陸の厳しい環境で奮闘している方々に、敬意を払いたい。多くのろう関係者やサービス提供者が依頼者の需要に応えようと努力しても、通訳者が不足しているため、なかなかうまく行かないのが現状だ。私は様々な分野で経験を積んできた。例えば健康、教育、盲ろう者の援助、手術段階教室での経験もあった。患者は手術中にも関わらず、ちゃんと意識を持って、表情を使って反応を示さなければならない。何故なら、彼らの両手は動けないように縛られているからだ。更に、私はハイレベルの会議や様々な言語を持って臨機応変に対応しないといけないような状況も経験した。ニューサウスウェールズ州とビクトリア州において、私が大変勉強になったのは、このろう社会には独特なネットワークがあって、情報は早く広く、そしてしっかりと繋がっていることだ。



ろう者に対して、ここの人々はあまりにも無関心なので、ろう者や難聴者とオーストラリア手話の学生さんを繋げていくような社会サポートグループの立ち上げにわずか3人でやっている。私がおの中の一人だ。ほかの2名のろう者と暫定理事を務めて、ろう者と難聴者に通訳サービスを提供するネットワークを取り組んでいる。今のところ、結構な手応えがあって、リバリナ地方で成果が上がるよう、期待している。

私は現在、ニューサウスウェルズ州とビクトリア州にある複数の代理店に所属している。その上、自由業としても働いている。この記事を書く目的は、ここにきて働いてくれるオーストラリア手話通訳者を探したいからだ。一つ以上の資格を持っている通訳者なら、仕事がいっぱい待っている。私は某大学からすでに3年先まで予約が入っている。来年から働く予定だ。つまり、ろう団体の仕事にますます対応できなくなる。ですから、リバリナ地方に引っ越してきて働いてくれる方に、私だけでなく、ろう団体も喜ぶ。ヘリコプターがあったら早く移動できると毎日口癖のように言っているが、この仕事が大好きなので、仕方がない。定年後にバイリンガル・サービスを提供したいと考えているので、休みの日は、社会科学課程の学士号を勉強している。

それでは御機嫌よう。もしリバリナ地方で仕事をしなくなったら、ぜひ連絡してください。

Email: marleen_blake@hotmail.com 或はお電話で 0416035955。

マリア・H・ブレイク (通称マーリーン)氏は、JP,神学士,職場研修証明 IV TAA401 評価と、社会科学学士号 (見込み)を持っている。

この記事は、マリア・ブレイク氏とオーストラリア通訳者及び翻訳者学院 (AUSIT) の許可を得て、オーストラリア通訳者及び翻訳者学院全国ニュースレター2008年8月号より転載。

マーリーン・H・ブレイク氏より 2009年7月29日

この記事がオーストラリア通訳者及び翻訳者学院ニュースレターで記載されてから、リバリナ地方には、アルペリー・ウドンガ方面に通訳補佐が一名と在学中の人が一名加わったが、私の仕事の量が全然減らなくて、今まで滞在していたオーストラリアのどの主要都市よりも忙しい。一部のろう団体会員が出ていったため、ネットワークの結成を断念せざるを得ない。私一人だけでは手が回らないので、一緒に仕事をしてくれる方がいませんか。ここの生活は楽しいよ。天気は凍りつくほど、雪は身近に。興味を示す方はいませんか。マーリーンより

重要事項

WASLI 理事会や外部からの寄稿者とともにこのニュースレターは作成されている。WASLI は発信した情報の信頼性を確保するように努めるが、発信された内容の正確性や意見についての責任は一切負わない。出典さえ明らかにすれば、このニュースレターで発信された情報を他の場所でも使用することができる。しかし、WASLI の公的な写真を使用する場合には secretary@wasli.org まで連絡し、許可を得なければならない。

寄付のお申し出は austoceania@wasli.org
メールアドレスの変更は、secretary@wasli.org まで。

WASLI / 理事会

リズ・スコット・ギブソン (会長) ; ファン・ドゥルエッタ (副会長) ; ゼイン・ハマ (事務局長) ; ダニエル・バーチ (会計) 会計

地域代表

市川恵美子 (アジア) ; ジョージ・メジャー (南洋州オセアニア) ; フィレモン・アカッチェ (アフリカ公式代表) ; ジャック・オウィティ (アフリカ臨時代表) ; セルマン・ホティ (バルカン) ; マルコ・ナルディ (ヨーロッパ) ; ホセ・ルイス・プリエバ・パティラ (ラテンアメリカ) ; デブ・ラッセル (北アメリカ) ; アンナ・コマロワ (ロシア・コーカサス・中央アジア)